

～誰もがつとえる多世代交流サロン～

「ばあばの家あさだ」

特定非営利活動法人ワークス・コレティブ

たすけあいぐっぴい

理事長 秋保清美

ばあばの家代表 早川サタ子

赤ちゃんから高齢者まで



そもそもの始まりは 「たすけあいぐっぴい」

たすけあいぐっぴい設立趣旨

「高齢や様々な障害また家庭環境の変化にあっても安心して暮らし続けられる地域社会をめざし、生活支援サービスを…」

(設立趣意書より抜粋)

- 1998年2月 12名でワーカーズ・コレクティブぐっぴい設立
- 2003年 NPO法人ワーカーズ・コレクティブぐっぴい設立
介護保険訪問介護事業開始

「ばあばの家」開始のきっかけ

- 西区境之谷におひとりでお住まいだった浅田隆子さん
- 藤棚地域ケアプラザからの相談を受けて「たすけあいぐっぴい」のケアマネジャーやヘルパーとご縁が繋がりました
- しかし入院を契機に、2009年7月に九州へ転居
- 浅田さんご長男夫婦から、空き家となった浅田邸を「たすけあいぐっぴい」で役立ててほしいとのお申し出

“この家をだれでも利用できる自由な空気の漂う場所
として活用してほしい”

(浅田さんの言葉)

「ばあばの家あさだ」開設までの道のり

- たすけあいぐっぴいは、介護保険事業や自主事業を展開していましたが、それに加えて地域で皆さんに来ていただく居場所の必要性
- 藤棚地域ケアプラザや宮崎地域ケアプラザに情報提供し、アドバイスを頂いた
- ばあばの家あさだがある第4地区社協の会長さんのご紹介で、当該自治会へご挨拶
- みんなのまつりなどの地域活動へ積極的に参加しアピール
.....そして

「ばあばの家あさだ」誕生！

ばあばの家



あさだ



ここで成り立ちをおさらい

- 2010年4月
高齡者サロン「集いの家あさだ」オープン
- 2010年10月
西区社会福祉協議会が新設した「にこまち 助成金」
を受けて、赤ちゃんから高齡者まで多世代が交流できる
サロン「ばあばの家あさだ」にリニューアルオープン

～みんな必ず一人ひとりに大切な居場所がある～
(浅田さんの言葉)

「ばあばの家あさだ」がめざすもの

～ここに来ればだれかに会える、
ここがあれば安心できる～

- 世代を超えたみんなの居場所
- 交流し、たすけあい・支えあう場所
- 手仕事のあたたかさや、エコな暮らしの提案・実践

心豊かに暮らし続けられるまちを、市民の力でつくること

「ばあばの家あさだ」の担い手

- 地域の方々！
無償ボランティア・
スタッフ約10名
- ぐっぴいのメンバー
施設の管理
イベントの開催
ニュースの発行



ばあばの家あさだの仲間たち

浅田邸で活動する仲間たち

- 2012年4月受託 横浜市補助事業親と子のつどいの広場
「ぐらんまのいえ」
- 2013年2月開始 神奈川県新しい公共のためのモデル事業
「若者の居場所兼仕事起こしプロジェクト」
“W.Coはっぴいさん”（外部団体）
- 2018年4月受託 横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業
（サービスB）

活 動 紹 介

毎月の活動

- ・ 茶話会、笑いヨガ
- ・ 手仕事クラブ、バザー
- ・ 五七五会（俳句）
- ・ 歌声タイム、編み物

毎年の活動

- ・ 敬老コンサート
- ・ 小さな文化祭など



毎月のメニュー ばあばの茶話会

毎月第一月曜日

お食事代300円(+利用料200円)

メニュー例

- ・ 豚肉の竜田揚げ、フルーツサラダ
野菜の五目煮
- ・ サバの味噌煮、カブの酢漬け
グリーンピースご飯
- ・ 肉豆腐、小松菜の胡麻和え
大根と里芋の風呂吹きみそ



毎月のメニュー 手仕事クラブ

毎週木曜日

利用料200円

2階の和室

作品例

- ・ 寄付された古布を使った
機織り
- ・ 手芸
干支の縫いぐるみ
着物を使った手提げ



年に一度 お楽しみメニュー

ミュージシャンを呼んでの
敬老コンサート



小さな文化祭
手芸品、ランチ、イベントなど



笑顔がいっぱい



毎週金曜日はサービスB

<目的>

高齢者一人ひとりができることを大切にしながら暮らし続けるために、多様な主体が連携・協力する地域づくり

<開始のきっかけ>

「地域の方にもっとばあばの家へ来てほしい」という思いと、横浜市の介護予防・生活支援サービス補助事業（サービスB）の目的が一致

<活動>

- ・ 昼食提供
- ・ プログラム：健康体操、健康麻雀など



地域での広がり

地域との交流

地域のまつりへの参加

- ・ 藤棚まつり
- ・ 第4地区

みんなのまつり

みんなの食堂への参加
(境之谷東部自治会)

利用者とボランティアの推移

| 年度 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
|-----------|------|------|------|------|------|
| 利用者数 (のべ) | 617 | 614 | 557 | 660 | 781 |
| スタッフ数(のべ) | 328 | 448 | 508 | 423 | 556 |

課題～これから取り組むこと

- スタッフの高齢化に伴う担い手不足
- 来所のとりかかり
～どの様に呼び込むか
- ニーズ調査
～利用者が何を求めているか
- 認知度を高める
～自治会行事などへの参加
- 地域の主体との連携
～民生委員、ケアプラザ、自治会長

